

秋田県内在住の産業カウンセラーの皆さん、こんにちは！ 回覧板夏号をお届けします！

リレー投稿『思うこと』 -22-

「新型コロナウイルス感染症」が 私たちに与えた影響を振り返って

鈴木 和子

日本国内で最初に新型コロナウイルスの感染者が確認されたのが令和2年1月15日、それ以降、感染は急速に拡大し続けていった。当初、ウイルスの特性がよくわからなかったことから感染拡大を防止する為、緊急事態宣言が発令され、外出自粛要請と飲食店等へ多くの制約が課せられた。経済活動の多くを止める措置を行ったことにより、経済や雇用、人々の生活に大きな影響を与えた。

私の記憶の中で忘れることができないエピソードがある。それは、親族が危篤状態になっても県外に在住の方は面会ができず、亡くなった後の葬儀にも参列できなかつたことである。人生最後のお別れもできなかった親族の思いは如何ばかりかと思う。また、医療現場では、コロナ感染者の受け入れの為、一般病床を減らし、コロナ病床を増やして対応に追われていった。コロナ感染者の治療に携わる医療従事者は激務に追われ疲労困憊の中、家族に感染させることを避けるために何カ月も自宅に帰れない状況が続いた。

2021年2月ファイザー製のワクチン接種がスタートする。ワクチン接種の為、医師、保健師、看護師等専門職の確保が始まった。私の住む地域では退職された方や潜在看護師が協力して今年の6月末で高齢者及び特定疾患の方の6回目接種を無事に終えることができた。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類に変わったのは、5月連休明けの事。様々な制約が緩和され、自由な日常が戻りつつある。この3年4か月の間で経験したことから色々なことを考えさせられた。新型コロナ感染症が経済的にも心理的にも大きく影響を及ぼしたことはとても大きい。反面、潜在看護師が社会に貢献するきっかけとなり看護師として社会復帰した方もいる。また、私の知人は韓国が大好きで毎年韓国旅行に行くことを楽しみにしていたが、新型コロナウイルス感染症で海外旅行に行くことができなくなり、韓国語の勉強を始めた。そして今年9月から韓国へ留学することが決まったと聞いた私は、とても驚いてしまった。いつ海外へ行けるようになるかわからない中、一生懸命に韓国語を勉強し続け、韓国へ留学するという目標を達成することができたのは彼女が韓国旅行に行けなくなったことを嘆くのではなく、行けないなら韓国語を勉強しようと思ったこと、そして、その学びを生かして留学するところまで辿り着いたことに感動した。留学に向けて8月には退職する彼女を陰ながら応援したい。

新型コロナウイルス感染症が私たちに与えた影響は全てがマイナスではなかつたのかも知れないと思えるようになった。制約された生活の中で生きていくこと、人と人との関わり、自分なりに生活を楽しむこと、などを学ぶことができたと思う。遠出せず、地元の飲食店を食べ歩いたり、近場の温泉旅館に宿泊したりする事で、秋田の良さを見直すきっかけにもなった。真っ青な青空、白い雲、緑の木々、雄大にそびえたつ鳥海山を眺める時、幸せを感じるようになった。普通の生活がどれだけ幸せなことなのかを実感した。



県内学習グループ開催情報など

◆ふれあいこまち会定例学習会

日時 6月3日(土)

会場 秋田市中心市民センター

参加者 8名

講師 津田宏美先生

日本FP協会秋田支部長、
キャリアコンサルタント

テーマ 産業カウンセラー、キャリアコンサルタントを対象としたファイナンシャル・プランニング入門

ファイナンシャルプランナーの津田先生より貴重な講話と、20年後の自分がどう生きているか想像する個人作業ワークを行いました。セカンドライフをどう生きたいのか、理想は膨らみますが、現実はその甘いものではないと改めて感じました。今回は入門編、ほんのさわりの部分。現実と向き合うためにしっかり数字をはじくことが大切だと思いました。

日時 7月1日(土)

会場 秋田市西部市民センター

参加者 10名

担当 岩谷一さん

テーマ REBT(論理療法)について

ふれあいこまち会会長の岩谷さん推奨のREBT(論理療法)について学びました。問題解決モデルシートを使ってのワーク、参加者の様々な立場から事例を出し合うなど有意義な時間となりました。印象に残った点は、『ねばならない』というイラショナルビリーフを『こしたことはない』と変えること。それにより気持ちが楽になるかも、生きやすくなるかもと思いました。

◆サキホコレ会定例学習会

日時 7月2日(日)

会場 かみおか嶽雄館(大仙市神宮寺)

参加者 8名

担当 谷藤さち子さん

テーマ「キャリアコンサルティング理論と
手相学の融合」

2級キャリアコンサルティング技能士として、30年近く相談業務に励んでおられる中、手相家としてもご活躍されている谷藤さんより、キャリアコンサルティングと手相学が、どのように結びつくのか、それぞれの手相と向き合い、これからの自分をじっくり考える時間を与えていただきました。



◆皆様へ

7月15日からの大雨による冠水、自宅浸水などの甚大な被害、お見舞い申し上げます。猛暑日も続き、健康面での二次被害も心配されます。くれぐれもお気をつけてお過ごし下さい。



秋田県運営部への問い合わせなどにご利用ください。

運営部長連絡先 080-9259-6005

メール jaico_akita@yahoo.co.jp

スパムメール防止のため、●を@に置き換えてご利用ください